

背景・目的

地域ブランドの構築には多くの時間と労力が発生するものであり、立ち上げ当初のブランディング計画を遂行できずに断念または休止状態となっているところや、地域団体商標等の登録に留まり、利活用の鈍化が見られる地域ブランドも多く存在する。一方、複数の地域資源を連携させることにより、「地域全体に付加価値をつけた」地域ブランドの成功例もあり、取組スタイルの変化も感じられる。

そこで本事業では、地域のブランディングを意識したブランドコンセプトの設計支援や地域製品の販売・開発支援を通じて、知的財産マインドを持った地域ブランド人材の育成を行うとともに、知的財産権の権利取得と知的財産を活用した成功体験を得ることにより、地域ブランド展開モデルを創出する。同時に、知財総合支援窓口等と連携し、「地域ブランド展開モデル」と「知財マインドをもった地元の地域ブランド人材」の有効性の周知普及を図り、管内他地域に波及させることで将来的な相乗効果を狙い、東北管内全体の経済活性化に寄与することを目的とする。

実施内容・形式

「知的財産マインドを取り入れたブランディング」に実績のある専門人材を活用して、継続して地域ブランディングを担ってゆく「知的財産マインドをもった地元の地域ブランド人材」をOJTで育成し、「地域資源間の連携支援」や知的財産戦略を取り入れた「商品・サービスの開発支援」を行うことで、「地域にお金が還元される地域ブランディング」を担い手に実感させるとともに、広く域外への認知度を向上させるため、令和元年度に引き続き、秋田由利牛振興協議会（秋田県由利本荘市）に対し、以下の取組を実施する。

令和元年度

PLAN

- ▶ 地域商品・サービスの認知度調査、ブランド構築セミナーの実施
- ▶ 支援チームによるヒアリング
- ▶ ブランドコンセプトの設計
- ▶ アクションプランの作成

令和2年度

DO

CHECK

- ▶ 商品開発・ブランディング支援
- ▶ 商品の販路開拓（拡大）支援
- ▶ ブランディング検討会の実施
- ▶ ブランディング検討会を踏まえたブランドコンセプトの見直し

令和3年度

ACTION

- ▶ 見直したブランドコンセプトに基づくストーリーブック等の作成
- ▶ 商品の販路開拓（拡大）支援
- ▶ アクションプランの見直し
- ▶ OJTにより、人材育成を行った者を中心としたブランディングの自走化

ブランディングの中心を担う人材のOJTによる育成